

おおいだ

議会だより

No. 112

2007/4



ピッカピッカの入園式（大石田保育園）

第1回定例会
3/6～3/14

- 2P 平成19年度予算可決
- 4P 予算特別委員会
- 8P 町政を問う（8議員の一般質問）
- 16P 議会を傍聴して

発行／山形県大石田町議会

発行責任者／議長 佐藤小太郎

編集／広報特別委員会・〒999-4112 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111

印刷／中央印刷株式会社村山支店

議会を傍聴して



柏倉 勝美さん
(豊田)

議会を傍聴して感じたことは、拡声器が悪くて質疑全般が理解しにくく失望しました。「金がない」の決まり文句でしょうが、金はないとも町民の知恵を掘りおこす手法を考えましょう。町政に関心を持つと芽をふんでしまうと、無関心人任せ主義を助長してしまいます。十分気をつけましょう。

議員の質問事項は、次元の高い課題を論じておられると思いますが、私ども庶民の感覚からすると、もっと暮らし向きの困っている人の立場で暮らしを支える議論がなぜできないのか残念でなりません。

学校建設問題についても、所管する教育委員会の回答も教育行政の担当者として

もつと明確な回答を示し、指導力を発揮する必要があると思うが違うでしょうか。また、大石田町は米づくりをめざす農業の町と思っています。町で今、農業を守る手立てを本気で議論し対策を立てているといえるでしょうか。今、国会で勧められている米づくり担い手農家の育成手法を、町の農家はどうか受け止めているのでしょうか。多くの方々は国の施策だから如何ともし難いとあきらめてしまっていないでしょうか。誠に残念です。国の改革方針ですから、如何ともし難いのはその通りかもしれませんが、今こそ地方自治体と農業団体と手を取り合って、米づくり農家に希望を与える対策を打ち出してほしい。

最後に、町長さんにお願います。年に1回、各集落ごとに町民の建設的意見を聞く機会を持ってほしい。たくさんの方のアイデアを掘りおこす町民参加型町おこしを実践してほしい。

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は

6月5日(火)

～11日(月)

の予定です。

気軽においでください。

お問い合わせ先

大石田町議会事務局

☎35-2111 内線312



佐藤小太郎 議長

永年在職議員表彰を受ける

平成19年2月16日、山形県自治会館でおこなわれた山形県町村議会議長会定期総会の席上で表彰されました。

これは、議員として永年在職し、町村自治の発展につくされた功績に対するものです。

編集後記

新年度となり新しい生活が始まった方もいらっしゃるでしょう。大石田町も新予算での一年が始まりました。

今年は暖冬で雪が少なかったとはいえず、春はやっぱり野山に新緑が芽吹き、桜の花が咲く時にこそ実感できます。

山菜取りや行楽にもいい季節が訪れました。私はこの季節、旬の山菜をつまみに酒をのむのが大好きで、中でも初物の山菜を口にすると、この町に住んでいてよかったなあと思います。

皆様の山菜の好きなところはどこですか？新しい季節に、改めてこの町のいいところを思い浮かべてみてはいかがでしょうか。（記 村形）

- 広報特別委員会
- 委員長 小玉 勇
 - 副委員長 関 幸悦
 - 委員 村形 昌一
 - 委員 高橋 徹
 - 委員 奥山 克弥
 - 委員 小林 征雄